

# 2021年新春（正月三ヶ日）に 福のお裾分け

一万円以上お買上げで 福（招福  
丑置物）をお持ち帰りください。

## ○「丑」の特徴

牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になるといわれています。

丑（うし）は十二支の一つ。2番目に数えられ、西暦を12で割って5余る年が「丑年」となります。その他、「土用の丑の日」、「丑の刻参り」という言葉を耳にする通り、年・月・日・時刻・方位などにあてられます。

丑の月は旧暦12月（現代ならおおむね1月）、丑の刻は午前1時～3時、丑の方位は北北東（北基準右廻り30度の方位）にあたります



## 開運干支丑置物

### ○基本的な性格

十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とされます。

丑年生まれの人については、「努力家でマイペース」ということがよくいわれます。牛が草を食べる時しっかりと反すうするように、何事もじっくりと考えて、納得がいくまではなかなか動き出しません。その代わりに、いったん意思が決まると他人の意見に惑わされることなく自分のペースで突き進んでいきます。温厚な性格で頭の回転が良く、面倒見の良い人が多いので、リーダーとして頼られることも多いですが、天狗になったりすることもありません。

また、使役に耐える牛の姿から想像できるように、我慢強く粘り強い人が多いのですが、ひとたび我慢の限界に達すると突然怒りだし、全て出し尽くすまで止まりません。日頃は温和なだけに、周囲は驚いてしまうかもしれませんが、だからといって誰かが大喧嘩になることはあまりないでしょう。

丑（牛）の年は、黙々と目の前の自分の仕事をこなすことが将来の成功につながる、と考えるとよいようです。